

## 産業用シリアル/イーサネット・コンバータ “ ComServer ”

# 1242080000	IE-CS-2TX-1RS232/485
# 1285830000	IE-CST-2TX-1RS232/485
# 1242090000	IE-CS-2TX-2RS232/485
# 1285840000	IE-CST-2TX-2RS232/485

### Web ブラウザによる基本パラメータ設定マニュアル



#### ➤ 本製品に関するソフトウェアについて

本マニュアルの英語版及びソフトウェアは弊社ウェブサイトの以下ページよりダウンロードいただけます

<http://www.weidmueller.com/downloads>

#### 1) 英語版マニュアル

<Print Media> → < Manual > → s) Manual - ComServer

#### Copyright Notice

Copyright © 2011 Weidmüller Interface GmbH & Co. KG

All rights reserved.

Reproduction without permission is prohibited.

**Weidmüller** 

## 1. 初期 IP アドレス設定

ComServer を設定する際、最初に必要なのは本機の IP アドレスを構成することです。  
この章では、ComServer の IP アドレスを構成する方法を説明します。

この章は以下のトピックを扱います：

- ・ ComServer の IP アドレスの初期化
- ・ 工場出荷時 IP アドレス

## 2. ComServer の IP アドレスの初期化

お使いの ComServer が Static IP か Dynamic IP (DHCP か BOOTP アプリケーション) のどちらを使う必要があるかご確認ください。

ComServer が Static IP 環境で使用される場合、新しい IP アドレスを構成するために S/E-Converter Administrator、Web コンソール、Telnet コンソールまたはシリアル・コンソールを使用することができます。

ComServer が Dynamic IP 環境で使用される場合、ComServer を DHCP、DHCP/BOOTP または BOOTP で Dynamic IP アドレスを得るように構成するために、シリアル/イーサネット・コンバータ・アドミニストレータ、Web コンソール、Telnet コンソールまたはシリアル・コンソールが使用可能です。



**ご注意**

DHCP サーバーまたは BOOTP サーバーを使用する際、Mac IP マッピング・テーブルで一定の IP アドレスをお使いの ComServer に確保する方法について、ネットワーク管理者にご確認ください。

多くのアプリケーションでは、一定の IP アドレスを ComServer に割り当てなければなりません。

## 3. 工場出荷時 IP アドレス

ComServer 製品は、以下のデフォルト・プライベートIPアドレスで設定されます：

**デフォルト(工場出荷時)IP アドレス: 192.168.1.110**

(公共ネットワークからプライベートIPアドレスで構成されるデバイスに直接アクセスすることができないため、「192.168.xxx.xxx」の形式をとる IP アドレスはプライベートIPアドレスと呼ばれている。)

例えば、外部のインターネット接続からそのようなデバイスにアクセスすることはできません。  
パブリックネットワーク(例えばインターネット)経由のデータ伝送を必要とする ComServer アプリケーションには、有効な IP アドレスを用いたサーバー設定が必要です。ローカル ISP から取得することが可能です。

## 4. Web コンソール設定

Web コンソールは、本製品の構成においてユーザーにとって最も分かりやすい設定方法です。この章では、ウェブコンソール機能グループと機能定義をご説明します。

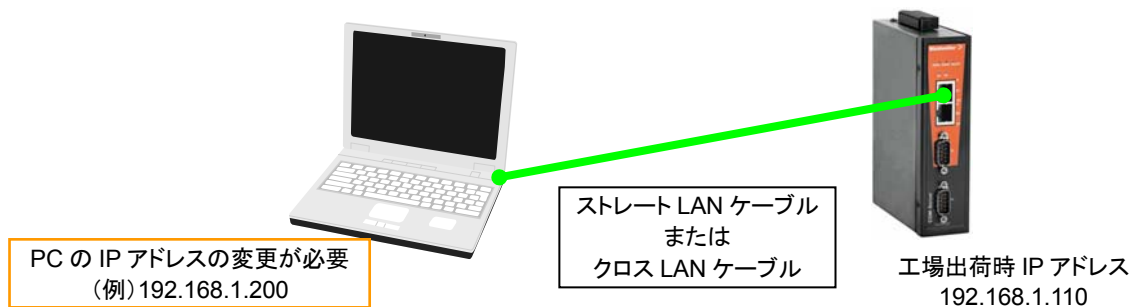
ブラウザは種類を問いません (Google Chrome, Firefox でも動作可能) が、推奨するブラウザは Microsoft Internet Explorer 6 以上で JVM (Java Virtual Machine) がインストールされているブラウザです。

この章は以下のトピックを扱います：

- ・ ブラウザの立ち上げ
- ・ エクスポート／インポート
- ・ 基本設定
- ・ ネットワーク設定
  - SNMP 設定
  - IP アドレスリポート
- ・ シリアル設定
  - シリアル・パラメータ

### NOTE 1

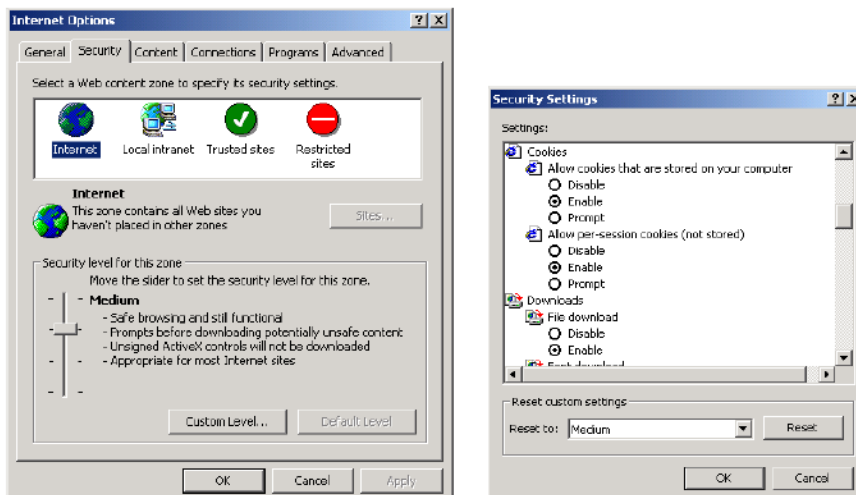
IE-SW-PL シリーズの管理、モニタリング機能を使用するためには Switch とパソコンが同一の LAN にある必要があります。そのため、パソコン、またはネットワークカード (NIC) の IP アドレス、サブネット環境を ComServer と合せる必要があります。



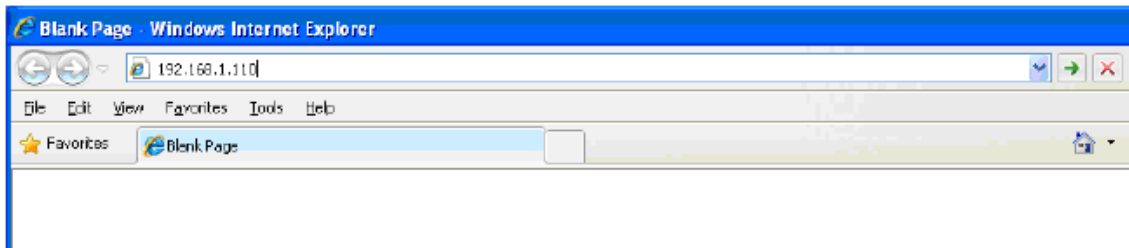
## 5. ブラウザソフトウェアの起動

1. Cookie を有効にし、ブラウザを立ち上げてください。

(Cookie を有効にするにはデスクトップの Internet Explorer アイコンを右クリックし、プロパティを選びます。Security タブをクリックし、下記のように Enable (有効) か Prompt (プロンプト) を選んでください。)



2. アドレス入力ボックスに工場出荷時 IP アドレス: 192.168.1.110 を入力し、エンターを押してください。



3. パスワード入力画面が出たら、入力セル部分に設定したパスワード入力してください。パスワードは、イーサネット経由で MD5 暗号化されます。  
なお、工場出荷時の ComServer はパスワードの設定をしていないためパスワード入力は不要です。

デフォルト(工場出荷時)パスワード: なし(空白)



#### 注意

IE 以外の Web ブラウザを使用する場合、「コンピュータに保存される Cookie を許可する」もしくは、「セッション毎に Cookie を許可する」を設定してください。

ComServer は、パスワードを送る目的で Cookie を使います。



#### 注意

この章で示される例は、工場出荷時 IP アドレス(192.168.1.110)を使用します。

#### ご注意: 設定したパスワードを忘れた場合の措置

パスワードを忘れた場合の唯一の対策方法は、ComServer のトップにあるリセットボタンを押し、出荷時設定に戻すことです。

そのため、構成終了後、構成ファイルをエクスポート(書き出し)するようにしてください。

リセットボタンを押し、出荷時設定に戻した後は、インポート機能を用いて ComServer に簡単に再ロードすることができます。

## 5-1. 項目別の設定

1. ComServer のホームページが表示されます。  
クイック設定(Quick Setup)、エクスポート／インポートの 2 種類のボタンがあります。Overview をクリックすればいつでもこの画面に戻ります。
2. 以下のセクションは、この TOP ページの左側の Main Menu に表示されるこの2つの便利な機能とその他の設定をご紹介します。



### 注意

ComServer アプリケーションがパスワードによる保護を必要とする場合、ブラウザで Cookie を有効にしなければなりません。Cookie が無効の場合、あなたは web コンソール画面にアクセスできません。

## 5-2. クイック(簡単)設定 (Quick Setting)

クイック設定は ComServer の構成を、通常の設定をカバーする3つの基本的かつ容易なステップに効率化します。クイック設定中でも、バックボタンでいつでも前のステップに戻ることができ、キャンセルボタンですべてのセッティングをクリアすることができます。異なるセッティングの詳細については、「基本設定」「ネットワーク設定」「シリアル設定」及び「操作設定」(この章のセクション)をご参照ください。

### STEP 1

デバイスがネットワーク内で動作する前に、有効な IP アドレスを ComServer に割り当てる必要があります。ネットワーク・システム管理者は、IP アドレスとネットワーク関連の設定をします。

**★重要:** IP アドレス、サブネットマスクを変更、設定する際はこの画面にて再設定が可能です。

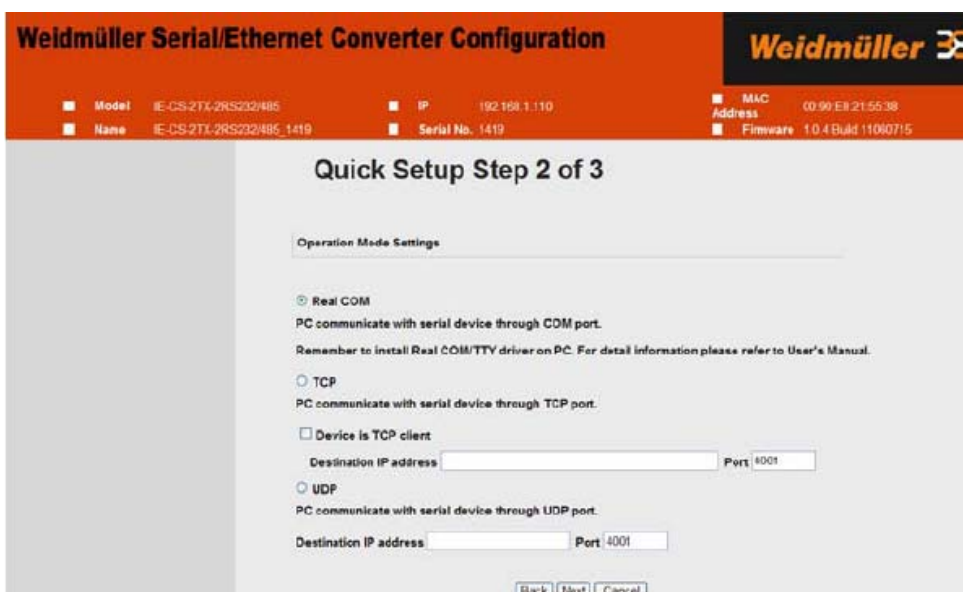
Server name(サーバ名)を設定すると、複数個所に設置した ComServer の位置またはアプリケーションを特定するのに便利です。



### STEP 2

利用するオペレーションモードを指定します。

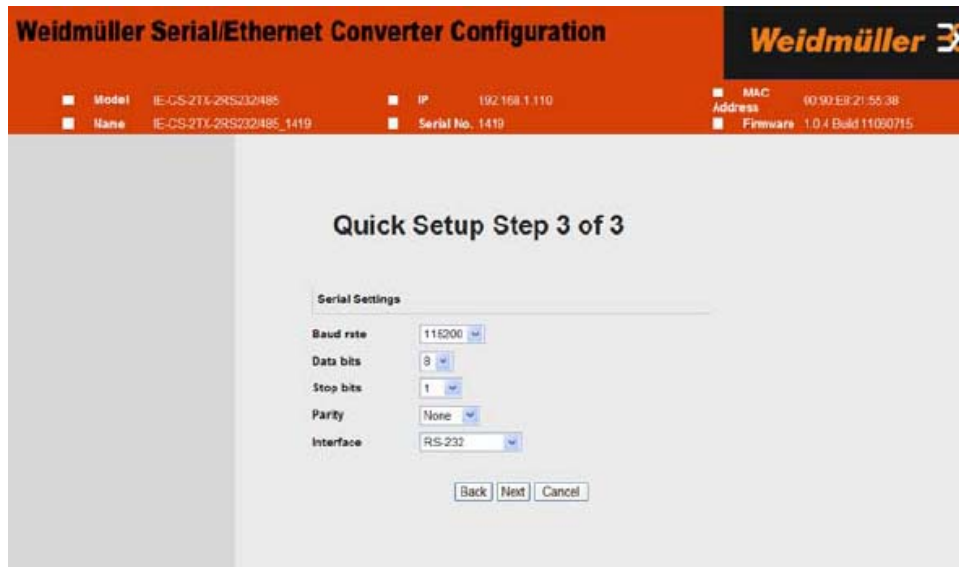
オペレーションモードが Real COM、TCP Server、TCP Client または UDP モードでない場合、Cancel をクリックしてください。そしてメイン・メニューに戻り、Operating 設定を選び、適切な設定にしてください。



### STEP 3

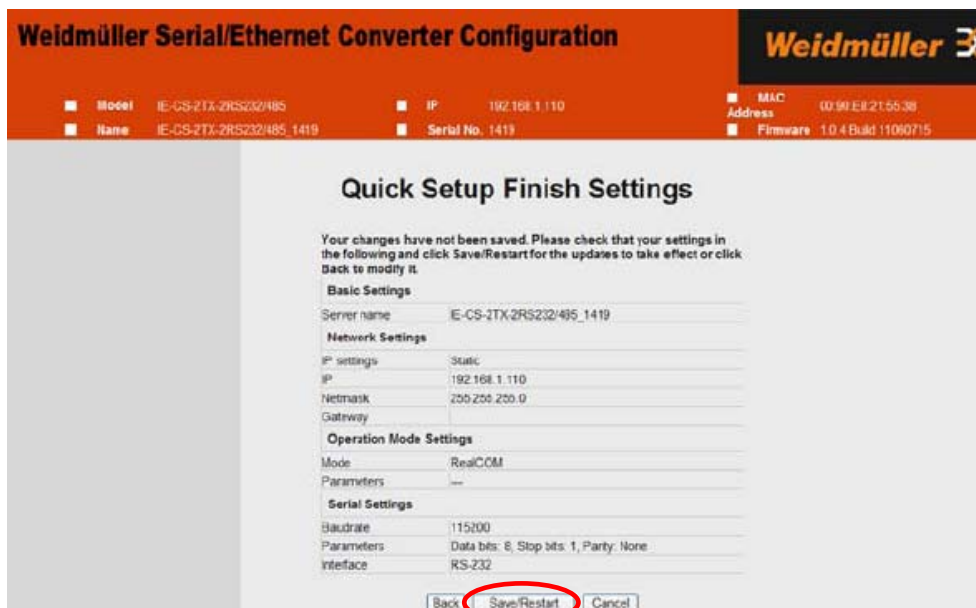
シリアル通信の設定を変更できます。

通信速度 (Band rate)、データビット、ストップビット、パリティチェック、シリアル通信方式をプルダウンメニューから選択します

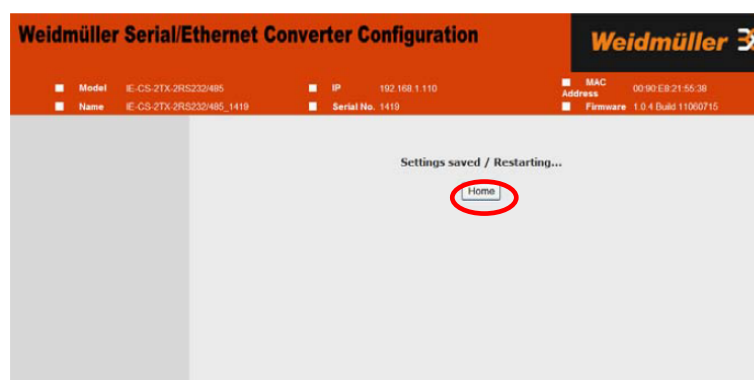


### STEP 4

最後の画面で設定を確認してください。正しく設定されていることを確認したら、保存/再スタート (Save/Restart) をクリックし、新規設定で再スタートしてください。機器の再起動は自動です。



**注意:** IP アドレスを変更した場合、ホームボタンを押してもホーム画面に戻ることはできません。IP アドレス変更後はパソコンの IP アドレス設定を再設定後、ブラウザからアクセスし直してください。



## 6. 設定データの書き出しと読み込み(エクスポート/インポート)

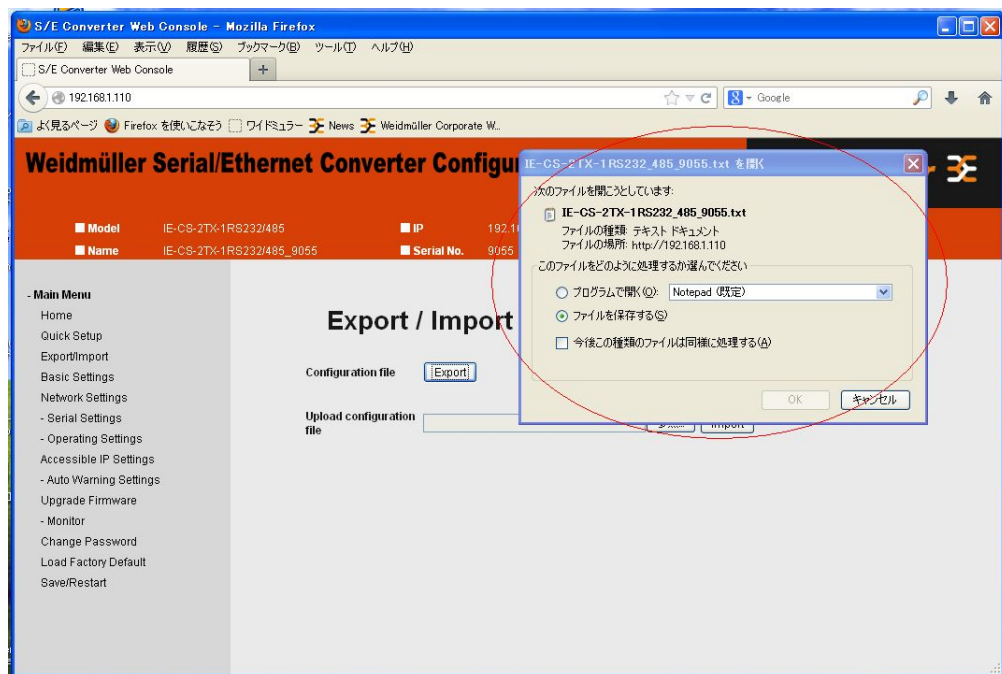
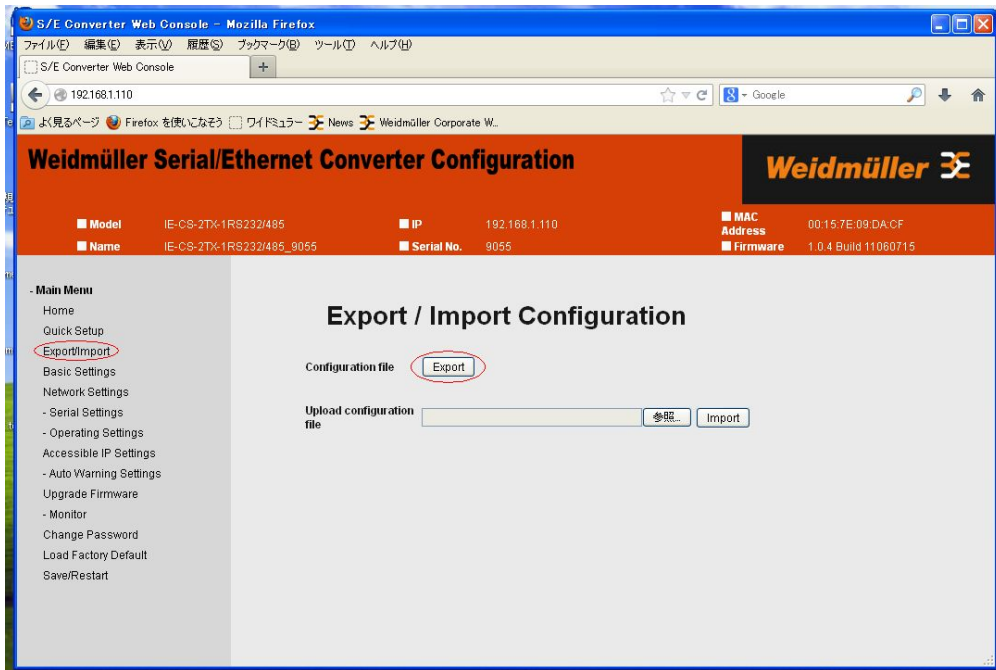
エクスポート/インポートで、お客様が設定した内容のバックアップ、および読み込みができます。

### ・ 設定データのエクスポート(保存)

Main Menu の Export(エクスポート)をクリックすると下図のようなウインドが表示されます。

デフォルトファイルに全ての構成データを保存します。

ファイルはテキストファイル形式で保存されます (例):<サーバ名>.txt.



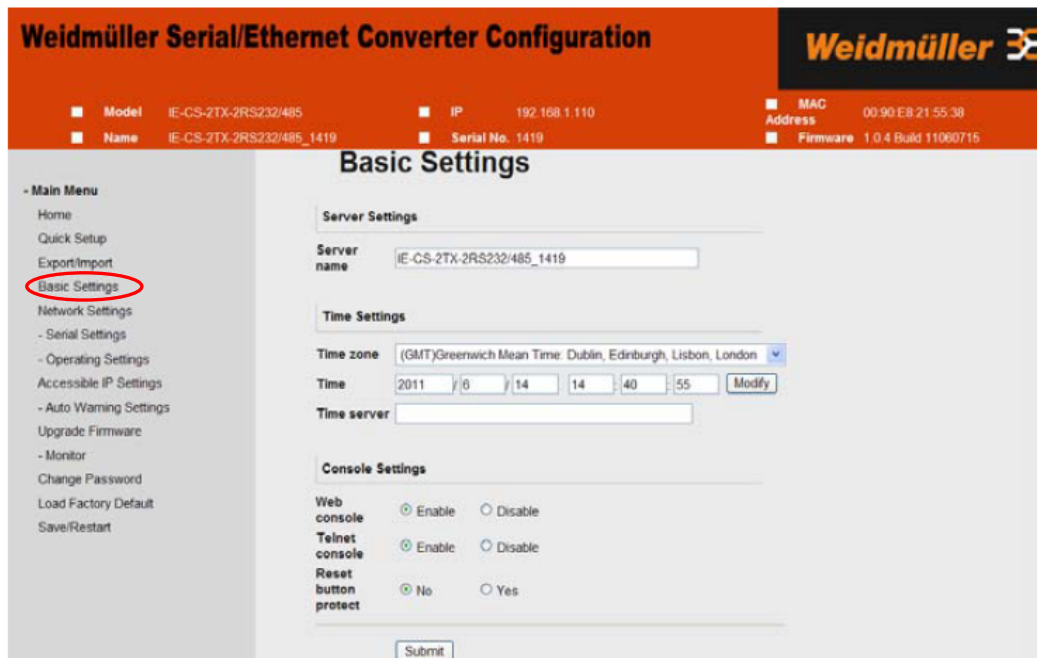
### ・ 設定データのインポート (読み込み)

保存したテキストファイルを参照し、Importをクリックすると設定ファイルを読み込みます。

## 7. 基本情報の設定 (Basic Settings)

Basic Setting の項目では前述のクイック設定 (Quick Setting) よりも詳細な設定をすることができます。またクイック設定で設定した項目を再設定することも可能です。

**★重要:** 各項目で設定、値の入力をした際は各設定画面下方にある『Submit』をクリックして変更内容を確定してください。



### ・サーバ名

Setting	Factory Default	Necessity
1 to 39 characters	NP[model name]_[Serial No.]	Optional

### ・Web / Telnet・コンソール

「Web コンソール」と「Telnet コンソール」の無効化のオプションは、セキュリティのためにあります。権限のないユーザーの ComServer へのアクセスを防ぐため、入念な予防策として、コンソール・ユーティリティの一方または両方の機能を無効化することも可能です。出荷時設定は、両者とも『有効』になっています。

#### Web コンソール

Setting	Factory Default	Necessity
Enable or Disable	Enable	Required

#### Telnet コンソール

Setting	Factory Default	Necessity
Enable or Disable	Enable	Required



### 注意

「Web コンソール」と「Telnet コンソール」の両方を無効化した場合、ローカルもしくはリモートで ComServer を構成するためにネットワーク上で SEConverter Administrator を使うことができます。

## リセットボタン保護

Setting	Factory Default	Necessity
No or Yes	None	Optional

注意: リセットボタンを有効にするため Yes を選んでください。リセットボタンは 60 秒間のみ有効で、その後は起動しなくなります。

## 8. ネットワークパラメータ設定



The screenshot shows the 'Network Settings' page of the Weidmüller Serial/Ethernet Converter Configuration web interface. The page includes a sidebar with navigation options like Home, Quick Setup, and various settings sections. The main content area is titled 'Network Settings' and contains several configuration sections:

- Network Settings:** Fields for IP address (192.168.1.110), Netmask (255.255.255.0), Gateway, IP configuration (Static), DNS server 1, and DNS server 2.
- SNMP Settings:** A radio button to enable or disable SNMP, a text field for the community name (public), and text fields for contact and location.
- IP Address Report:** Fields for auto report to IP, auto report to UDP port (4002), and auto report period (10 seconds).

A 'Submit' button is located at the bottom of the configuration area.

ComServer がネットワーク上で動作するために有効な IP アドレスを ComServer に割り当てなければなりません。ネットワーク・システム管理者は IP アドレスとネットワーク関連の設定をします。

ネットワーク上で IP アドレスは重複しない値でなければなりません。そうでなければ、ComServer はネットワークとの有効なつながりがありません。

IP 構成モードは次の 4 種類—Static、DHCP、DHCP/BOOTP、BOOTP(ウェブ・コンソール・スクリーンの IP 構成のプルダウンボタン内)から選択可能です。

### IP 構成

Method	Function Definition
Static	User definable IP address, Netmask, and Gateway.
DHCP	DHCP server assigned IP address, Netmask, Gateway, DNS, and Time Server
DHCP/BOOTP	DHCP server assigned IP address, Netmask, Gateway, DNS, and Time Server, or BOOTP server assigned IP address (if the DHCP server does not respond)
BOOTP	BOOTP server assigned IP address

## IP アドレス

Setting	Factory Default	Necessity
E.g., 192.168.1.1 (IP addresses in the form x.x.x.0 and x.x.x.255 are invalid.)	192.168.1.110	Required

IP アドレスはネットワークデバイス(例えばコンピュータ)に割り当てられる数値です。コンピュータはネットワーク上で情報を特定したり、会話をするために IP アドレスを使用します。  
お客様のネットワーク環境でユニーク、かつ、有効である適切な IP アドレスをご選定ください。

## ネットマスク

Setting	Factory Default	Necessity
E.g., 255.255.255.0	255.255.255.0	Required

サブネット・マスクは、1 つの地理的な位置(例えば建物、または、同じローカル・エリア・ネットワークのすべてのホスト)で、すべてのネットワーク・ホストを代表します。  
パケットがネットワークに送られると、パケットで指定された望ましい TCP/IP ホストがローカルネットワークセグメントにあるかチェックするために、ComServer はサブネット・マスクを使います。  
アドレスが ComServer と同じネットワークセグメントにあれば、直接 ComServer から接続されます。

## ゲートウェイ

Setting	Factory Default	Necessity
E.g., 192.168.1.1	None	Optional

ネットワークゲートウェイは、もう一つのネットワークへのゲートウェイとして機能します。  
通常、ネットワーク、もしくは、ローカル・インターネット・サービス・プロバイダの通信をコントロールするコンピュータは、ゲートウェイ・ノードです。ComServer は、ローカル・ネットワーク環境の外でホストと通信するためにデフォルトゲートウェイ・コンピュータの IP アドレスを知る必要があります。  
正しいゲートウェイ IP アドレス情報を得るために、ネットワーク管理者にご確認ください。

## IP 構成

Setting	Factory Default	Necessity
Static, DHCP, DHCP/BOOTP, BOOTP	Static	Required



### 注意

Dynamic IP 環境でファームウェアは、ネットワークの設定が DHCP または BOOTP サーバーで割り当てられるまで、30 秒毎に起動します(最高 3 回)。  
毎回、1 秒から 3 秒まで増加します。  
DHCP/BOOTP サーバーが利用できない場合、ファームウェアは IP 設定として、デフォルト IP アドレス(192.168.1.110)、ネットマスク、及び、ゲートウェイを使用します。

## DNS サーバー1/DNS サーバー2

Setting	Factory Default	Necessity
E.g., 192.168.1.1 (IP addresses in the form of x.x.x.0 and x.x.x.255 are invalid.)	None	Optional

ユーザーがウェブサイトを訪問する際、コンピュータはウェブサイトの正しい IP アドレスを求めてドメインネーム・システム (DNS) サーバーを要求します。そしてウェブサーバに接続するためにその反応を使います。DNS は、インターネット・ドメイン名を指定し、IP アドレスに変換する方法です。ドメイン名は英数字 (例えば weidmueller.com) です。

DNS サーバーは、TCP/IP 接続を構築するために、このようなテキスト・ベースのドメイン名から英数字の IP アドレスに変換するホストです。

ComServer の DNS 機能を利用するために、DNS サーバーを設定する必要があります。そうすることで、ComServer がホストにアクセスするためにホストのドメイン名を使用することが可能になります。

ComServer は、DNS サーバーの IP アドレスを構成するために、DNS サーバー1 と DNS サーバー2 の構成アイテムを構築します。DNS Server 2 は、DNS sever 1 が利用できない時に使用されます。ComServer は、特定のドメイン名と関係している IP アドレスのために DNS サーバーを頻繁に問い合わせることによって DNS クライアントの働きをします。ドメイン名をサポートする ComServer 機能は、タイムサーバ、TCP クライアント・モードのディスティネーション IP アドレス、メール・サーバ、SNMPトラップサーバと IP への自動レポートです。

## 9. SNMP 設定

### コミュニティ名

Setting	Factory Default	Necessity
1 to 39 characters	public	Optional

コミュニティ名とは、マネージド・ネットワークデバイスのエージェントに毎週クエリを認証するのに用いられるプレーンテキストのパスワードの仕組みです。

### コンタクト

Setting	Factory Default	Necessity
1 to 39 characters (E.g., Support, +49 5231 14-0)	None	Optional

SNMP コンタクト情報は、通常緊急連絡先、電話番号、ポケベル番号を含みます。

### 場所

Setting	Factory Default	Necessity
1 to 39 characters (E.g., Floor 1, office 2)	None	Optional

SNMP エージェントのロケーションストリングを指定します。(例) ComServer このストリングは、ComServer が位置する住所に設定されます。

## 10. IP アドレスレポート

ComServer 製品がダイナミック IP 環境で使用される際、ユーザーの IP 管理に係わる作業時間は多くなります。例えば、ComServer がサーバー (TCP または UDP) として機能する場合、ホスト (クライアントとして機能) はサーバーの IP アドレスを知っていなければなりません。

DHCP サーバーが新しい IP アドレスを ComServer に割り当てる場合、ホストは ComServer の新しい IP アドレスを特定する方法が必要です。

ダイナミックな IP が変わった場合に備えて、ComServer 製品は IP アドレスを IP ロケーション・サーバーに定期的にレポートします。以下のパラメータは、自動 IP レポート機能を構成するのに使用されます。

ComServer の自動 IP レポートを受け取るために「自動 IP レポートサーバー」を設定する方法が2つあります。

1. SEConverter Administrator の IP Address レポート機能を使用してください。
2. 「自動 IP レポートプロトコル」(定期的に自動 IP レポートを受け取ることができます)を使用してください。

ソフトウェア開発にも利用することができます。

詳しくは付録 E の「自動 IP レポートプロトコル」をご参照ください。

### IP への自動レポート

Setting	Factory Default	Necessity
E.g., 192.168.1.1 or URL (IP addresses in the form of x.x.x.0 and x.x.x.255 are invalid.)	None	Optional

自動レポート機能によって発生するレポートは、この IP アドレスに自動的に送られます。

## 11. シリアル通信セッティング

シリアルポート設定を表示させるために、メインメニュー下の Serial Settings(シリアル設定)をクリックしてください。



★重要: 2ポートの ComServer においては特定のポートのシリアル通信の設定を個別に実施します。本画面の Main Menu において 設定対象のポート(Port1 または 2)をクリックし、各ポートの通信設定をしてください。



### ポート エイリアス

Setting	Factory Default	Necessity
1 to 15 characters (E.g., PLC-No.1)	None	Optional

## 12. シリアル通信用パラメータ



### 注意

お客様が接続するシリアル通信機器のユーザーマニュアルの中のシリアル通信パラメータを確認してください。シリアル通信機器で使用されている通信パラメータと同一内容を ComServer にも設定します。

### ボーレート

Setting	Factory Default	Necessity
50 bps to 921.6 Kbps	115.2 Kbps	Required

### データビット

Setting	Factory Default	Necessity
5, 6, 7, 8	8	Required

### ストップビット

Setting	Factory Default	Necessity
1, 1.5, 2	1	Required

### パリティ

Setting	Factory Default	Necessity
None, Even, Odd, Space, Mark	None	Required

### フローコントロール

Setting	Factory Default	Necessity
None, RTS/CTS, DTR/DSR, Xon/Xoff	RTS/CTS	Required

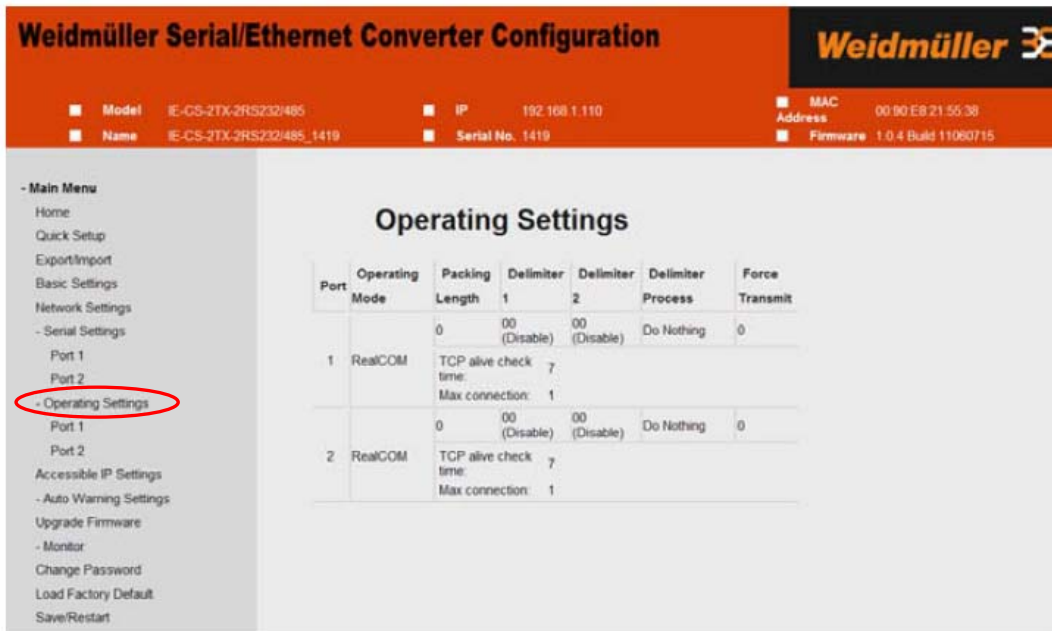
### FIFO

Setting	Factory Default	Necessity
Enable, Disable	Enable	Required

### インターフェース

Setting	Factory Default	Necessity
RS-232/422/485	RS-232	Required

### 13. オペレーション設定



The screenshot shows the 'Operating Settings' page in the Weidmüller Serial/Ethernet Converter Configuration web interface. The interface has a top navigation bar with the Weidmüller logo and a status bar with device information: Model (IE-CS-2TX-2RS232/485), IP (192.168.1.110), MAC Address (00:90:E8:21:55:38), Name (IE-CS-2TX-2RS232/485\_1419), Serial No. (1419), and Firmware (1.0.4 Build 11060715).

The left sidebar contains a 'Main Menu' with the following items: Home, Quick Setup, Export/Import, Basic Settings, Network Settings, - Serial Settings, Port 1, Port 2, - Operating Settings (highlighted with a red circle), Port 1, Port 2, Accessible IP Settings, - Auto Warning Settings, Upgrade Firmware, - Monitor, Change Password, Load Factory Default, and Save/Restart.

The main content area is titled 'Operating Settings' and contains a table with the following data:

Port	Operating Mode	Packing Length	Delimiter 1	Delimiter 2	Delimiter Process	Force Transmit
1	RealCOM	0	00 (Disable)	00 (Disable)	Do Nothing	0
		TCP alive check time: 7 Max connection: 1				
2	RealCOM	0	00 (Disable)	00 (Disable)	Do Nothing	0
		TCP alive check time: 7 Max connection: 1				

ComServer のシリアルポートのオペレーション設定を表示するには、メインメニュー下の『Operating Settings』（オペレーション設定）をクリックしてください。

## 14. 製品の保証について

弊社の販売に関する一般規定に明記されている保証条件に従って、本製品の保証期間は『出荷後 5 年間』となります。

製品の欠陥につき、事故や故障が起きた場合、弊社が無償で修理、もしくは、機能的に同等な新品の製品を取り替えることを保証します。

安全性については本ガイドや製品マニュアルに明記されていますが、特定のシステムとの互換性や特定の目的への適合性に関して保証はありません。

法律によって認められる範囲で、損害への申し立てや購入費用の払い戻しは、契約または不法行為を含むどのような法的理由にでも基づく場合も除外されます。

保証条件に明記されていない場合は、弊社の購入に関する一般規定と負担責任が適用されます。

本製品は予告なく仕様を変更する場合がございます。本件についてあらかじめご了解ください。

### Contact Information

Weidmüller Interface GmbH & Co. KG  
Postfach 3030  
32760 Detmold  
Klingenbergstraße 16  
32758 Detmold  
Germany

Phone +49 (0) 5231 14-0  
Fax +49 (0) 5231 14-2083  
E-Mail [info@weidmueller.com](mailto:info@weidmueller.com)  
Internet [www.weidmueller.com](http://www.weidmueller.com)

日本ワイドミュラー株式会社  
東京都品川区東品川 2-2-8 スフィアタワー天王洲

TEL: 03-6711-5300(代表)  
FAX: 03-6711-5333  
URL: <http://www.weidmuller.co.jp>